

市民活動 ボランティア情報誌

第4号

発行/海津市社会福祉協議会内市民活動ボランティアセンター
TEL. 0584-55-2300 FAX. 0584-55-1990

ボランティア団体紹介

フラワーの会

会 員 8名（平成17年6月7日現在）

活動内容 一人暮らしの高齢者の方や高齢者世帯などを対象として食事サービスを行います。おいしいお弁当を召し上がっていただくため、いつも朝早くから準備を行い真心を込めて作ります。あたたかい気持ちいっぱいのお弁当に高齢者の方も大変喜んでおられます。



ボランティアセンターにはさまざまなボランティア団体・個人が登録し、それぞれの活動を行っています。ボランティアに関する相談や問い合わせは裏面ボランティアセンターへどうぞ！

ボランティア募集

あなたの真心とどけてみませんか

配食ボランティア募集！

- 毎月2回(平日) 11時30分～12時頃まで食事サービスのお弁当を利用者宅まで配ります。配る日にちも決まっています。
- サービスを利用してみえるお年より宅へ配達して頂く活動です。
- 運転免許と温かい心があればどなたでも活動可能です。

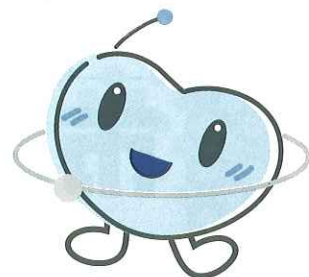


※海津町吉里地区・平原地区、南濃町南部地区への配食の方が不足しておりますので、ご協力いただくと幸いです。

※ボランティア登録時に活動保険に加入をお願いしています。(自動車事故は補償されません)

育てふくしの心

～福祉協力校事業～



海津市では、市内のすべての学校（小・10校、中・5校、高・1校）を福祉協力校に指定し、ボランティア活動や日常の身近な福祉活動を進めるなかで、社会福祉への理解と関心を高め、学童・生徒を通じて家庭や地域において、福祉の心を深めるような教育の実践・研究を行うことを目的とします。

平田中学校



5月31日(火)、3年生の生徒4名が海津総合福祉会館ひまわりに訪れ、車いす介助方法やバリアフリーについて学びました。車椅子の体験では、各部の名称や介助方法のレクチャーを受けたあと、実際に屋外に出て段差や坂道での体験をし、少しの段差や緩い坂道でも介助の大変さを感じていました。また、コミュニケーションをとりながら介助を行うことの大事さも感じていました。

バリアフリーの必要性や重要さの説明を受けているときも、生徒たちは真剣な眼差しで聞き入り、福祉に対する関心の高さが感じられました。

吉里小学校



6月8日(水)、1・2年生の生徒28名の児童が手話学習を行いました。ボランティア団体『手話サークルゆかいな仲間たち』代表の浅井玉枝氏を招いて、手話で日常の挨拶や、かたつむりの歌などをうたいました。手話は相手の目を見て体全体で表現しましょうという浅井氏の言葉に児童たちが大きくうなづく場面もみられました。児童たちは手話に興味・関心を示し、ふくしの心は芽生え、育っているようでした。

東江小学校



5月25日(水)、5年生の17人の児童が高齢者疑似体験の学習を行いました。2人1組になり、体験者と介助者と分かれて体験を行いました。体験する前に、児童たちは高齢になるとどのようなことが考えられるか学習しました。そして高齢者疑似体験グッズを装着し、事前の学習を踏まえ校内の階段の昇降をしました。体験と介助を終えた児童たちは、今後自分が何をしていかなければならないのかなど話し合いました。

今回の体験学習が地域の福祉やボランティアの興味を持つきっかけとなり輪が広がることを期待します。

インフォメーション

海津市社会福祉協議会内市民活動ボランティアセンター

TEL.55-2300

FAX.55-1990